

地域づくりグループ連携広域学習事業

～ 実践的手法から学ぼう! ～

地域づくり課題解決 (しくみづくり)法」ダイジェスト講座
誰にも分る「コーチング手法」「プロジェクトマネジメント手法」
の養成講座

財団法人 山形県生涯学習文化財団
地域づくり協働WS (ワークショップ) 実行委員会



講座NO.3

✍ 基調講座 -

✍ 地域づくり課題解決 (しくみづくり)法」-



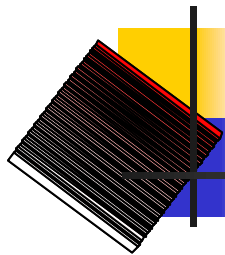
基調講座 -

講師 川村 志厚氏

NPO法人山形専門家ネットワーク 監事

経営デザイン研究所 代表

- ✍ 課題解決手法の**現状**・**問題**そしてこれからの**潮流**」
- ✍ 本講座に**期待するもの**・**その可能性**」



ダイジェスト講座 -

地域づくり課題解決 (しくみづくり)法」

地域づくり対象領域

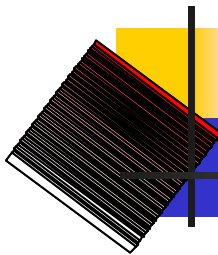
経営マインドの必要性

経営マインドを支える資質と能力

地域づくり対象領域の一つ <コミュニティビジネス (CB)> の

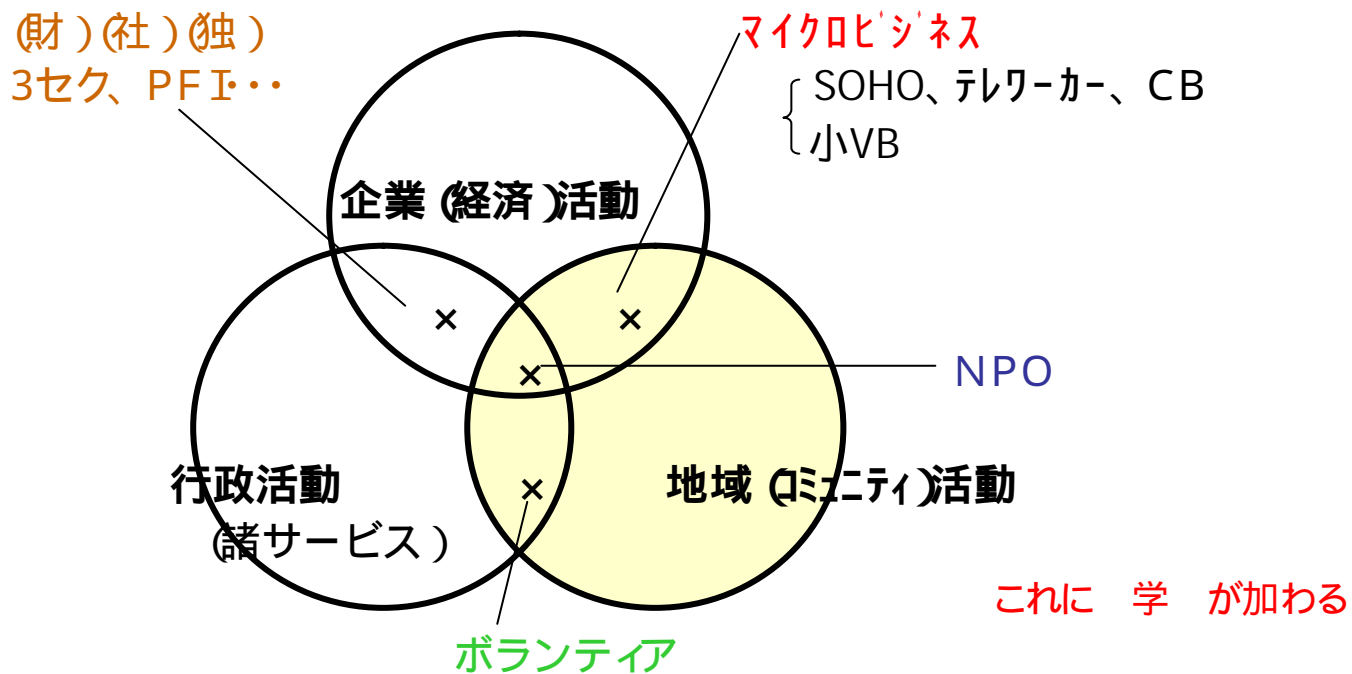
現状、課題そして潮流

連携と協働のしくみづくり



地域づくり対象領域

< 地域社会を変える力 (地域力) の相関 >





経営マインドの必要性 (1)

地域づくり「リーダー」資質とは？ リーダー像とは？

- 目利き ⇨ 帽子の数 & 先見性
- 行動力 ⇨ 自ら汗を流して行動できる
- 情熱 ⇨ 明確なポリシーと人を巻き込む熱意
- 人柄 ⇨ みんなが慕って集まる人望 (キャラクター)
- 調整力 ⇨ みんなのベクトル調整力
- 聞き上手 ⇨ 話し上手より聞き上手

⇨ 強固な組織の形成ができる



組織内の連携と協働
を生む



経営マインドの必要性 (2)

経営マインドの源泉とは・・・

感性の領域

「好奇心」 「アンテナの高さ」 「アンテナの感度」

情報受発信力

「帽子の数」:名刺の肩書きでは分らないその人の
活動範囲や人的チャンネル



経営マインドの必要性 (3)

経営的発想の大切さ

CB支援事業の事例

= 事業総括から見えてくるもの =

地域づくり関係者の事例

= NPO中間支援組織総括合宿提案資料から =



経営マインドを支える資質と能力

✎ 課題解決 (ソリューション) 力 詳細別紙資料参照

課題解決プロセス (P・D・C・A) 構築能力

✎ プロジェクトマネジメント (事業遂行管理) 力 詳細別紙資料参照

アクションプラン策定能力 (Q品質・C費用・D期限)

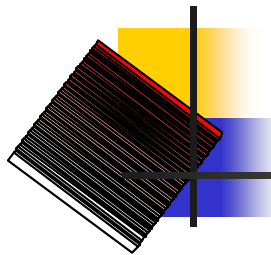
事業実行計画書 (目標・現状・実現方法・担当・期限・

期待される成果物) の作成

作業工程表 (作業項目と実現可能なスケジュール) の作成

アクションプラン遂行管理能力

Q・C・Dの代替案 (オプション) の策定とバランス管理



地域づくり対象領域の一つ <コミュニティビジネス (CB)> の 現状、課題そして潮流 (1)

仕事のパラダイムシフト

パラダイム : 人々に共有された世界観、ものの見方、共通の思考の
枠組み・方法論 基本的なイメージ

組織中心の仕事

2極分化

組織 (企業)

個人 (個業 : マイクロビジネス)

冷え切っている雇用環境の改善のポイント

【固業】 100人の会社一つよりは5人規模の起業 × 20の起業

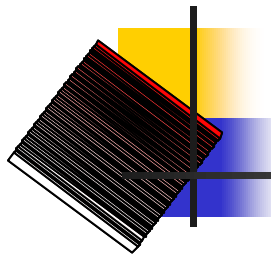
地域密着型起業 (CB) の創出支援

行政の施策とその限界

起業家のリソース不足 (人材・資金・ノウハウ)

自立的支援機能 (民) への期待





地域づくり対象領域の一つ<コミュニティビジネス (CB)>の現状、課題そして潮流 (2)

県主体の支援事業 (2001 ~ 2002年度)

CBの醸成 : 相談会・セミナー・インターシッパ推進セミナー

CBの支援 : 長期個別起業支援 (協働ワークショップ)・SOHO立上支援 etc.

県主体の支援事業 (2004年度 ~)

総合支庁レベルの支援事業例 (2003年度から3年目)

CB起業創出支援プログラム (セミナー型から**実践型へ**)

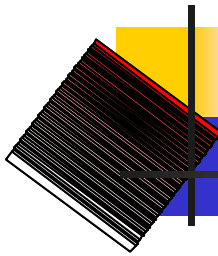
アイデア・コンテスト → 起業オークション → 長期協働ワークショップ支援
個別起業塾



起業家創出 & 県内支援者の発掘・育成

自立的支援機能 (民 : NPO・協同組合など) の受皿





連携と協働の仕組みづくり(1)

地域づくりにとっての「連携・協働」のメリットと効果

相乗効果 }
補完効果 } ⇒ いわゆる **Win・Win** 関係の形成

リソース(人材・資金・資材・時間)活用の**可能性** &
自由度が広がる

↓ そして
アウト・ソーシング から **コ・ソーシング** へ



連携と協働の仕組みづくり(2)

連携・協働の参考事例の紹介

本まなび講座(2市町村4団体連携):NPO+任意団体(+企業)

地域異業種連携・協働事業創出:NPO+福祉+農業

飲食+福祉+農業+行政

自動車リサイクル法施行(2005)対応:

解体・リサイクル業種の「グループ結成&経営改善による生残り」検討

新事業創出:

公共土木事業(第1の柱) → バリアフリー住宅分野事業(第2の柱) →

少子高齢多老社会の家庭密着型諸サービス業(パートナーとの連携)(第3の柱)

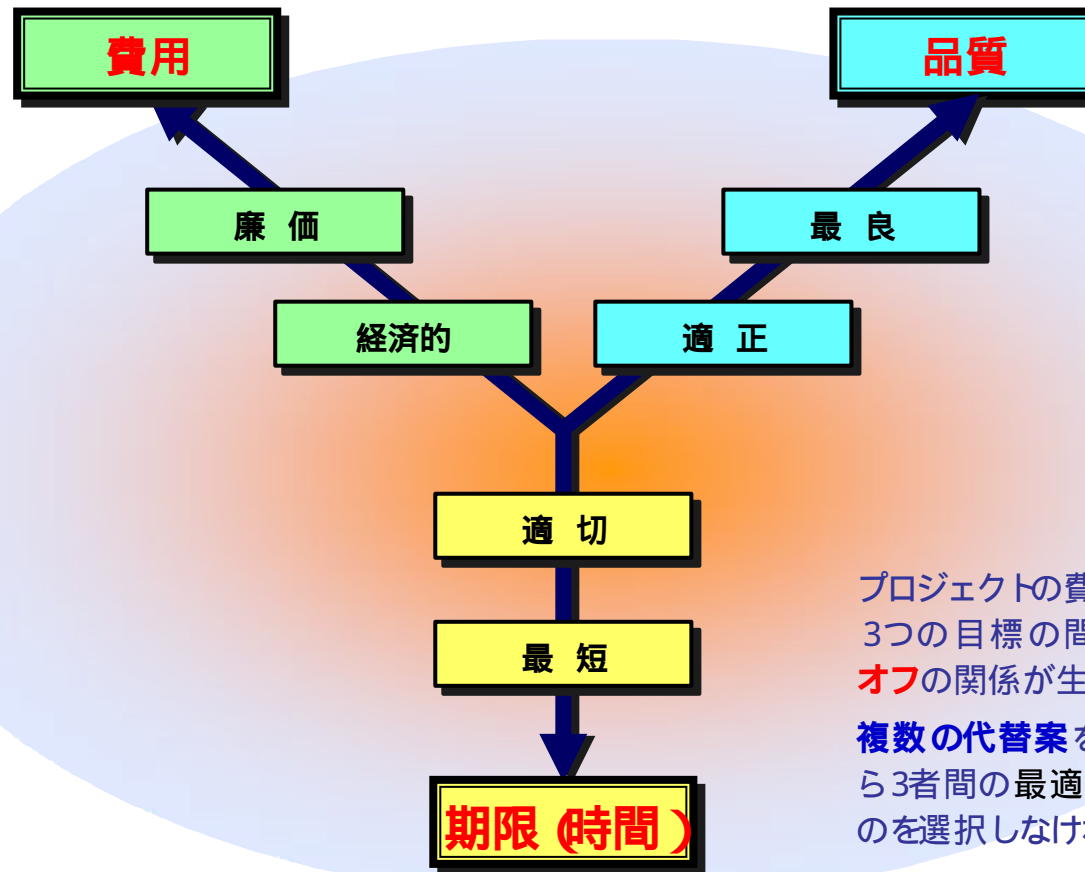
産学官民連携事業:CB創出支援事業(4年間)

県&村山総合支庁/NPOフロンティア/山形大学地域共同研究センター間の
連携・協働

県のNPOなどとの「協働企画提案事業」:スタートの途に着いた

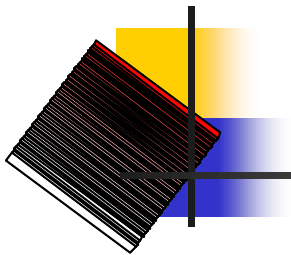
所でまだ未知数

プロジェクト・マネジメントの目的

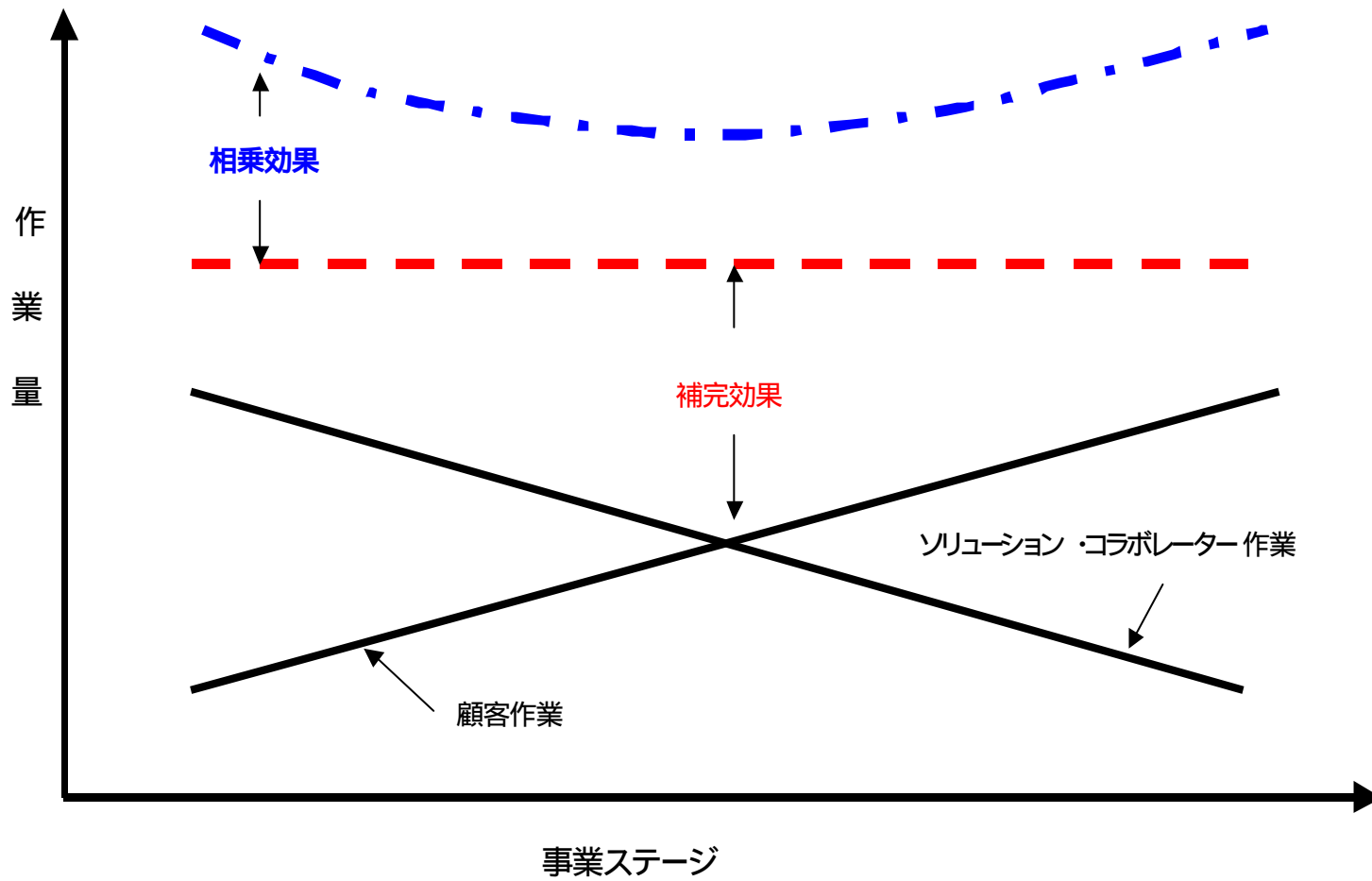


プロジェクトの費用、時間、品質の3つの目標の間には常に**トレードオフ**の関係が生じる。

複数の**代替案**を用意し、その中から3者間の**最適なバランス**をとるものを選択しなければならない。



課題解決協働作業の【補完効果】と【相乗効果】



産学官民の「協働・連携」のスキーム

< NPO & 大学連携による NPO・コミュニティビジネス相談会 開催事業 >

3元 2層の協働・連携

